

群馬県立歴史博物館 第18回テーマ展示

「前橋藩松平家の<sup>かがや</sup>耀き」のご案内

県立歴史博物館では、第18回テーマ展示「前橋藩松平家の耀き」を以下のとおり開催します。

展示の概要

江戸時代中期から幕末まで前橋藩主をつとめたのは、徳川家康の次男結城秀康を祖とする松平大和守<sup>のかみ</sup>家でした。歴代藩主の肖像画をはじめ、藩主から町年寄や家臣が拝領した資料などと併せて、城下町前橋の夏祭りであった祇園祭礼<sup>ぎおん</sup>の絵巻を展示し、松平大和守家とその時代の前橋藩の華やかな様子を紹介します。

- 1 会 期 令和3年6月15日(火)～7月4日(日)
- 2 開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)  
※事前予約制(電話または当館ホームページからオンライン予約)
- 3 休 館 日 毎週月曜日
- 4 観 覧 料 一般300円・大高生150円・中学生以下無料

見どころ

引越し大名

松平大和守家は、前橋に来るまでに9回の国替えがあり、「引越し大名」と呼ばれています。この歴代当主の肖像画を、初代から8代まで展示します。



2代 松平直矩像  
(孝顕寺蔵、当館寄託)

松平家からの拝領品

藩主であった松平大和守家の当主が家臣や町年寄に下賜した鎧や文箱などを展示します。それら華やかな資料から、当時の前橋藩の様子をご覧いただけます。



紺糸威切付小札二枚胴具足  
(当館蔵)

江戸時代の前橋の夏祭り

祇園祭礼は毎年行われた前橋の夏祭り、各町が趣向を凝らした屋台などを出して練り歩きました。当時のにぎわいの様子を絵巻を通して紹介します。



前橋町祭礼行列絵巻  
(当館蔵)

本テーマ展示は5月22日(土)からの開催を予定していましたが、「まん延防止等重点措置」の適用に伴う臨時休館のため、会期を変更しました。

※今後も国内外の感染状況により、予定が変更となる場合があります。  
※取材は随時受け付けますのでご連絡ください。(担当:森田・原)